

### ことばと遊び、言葉を学ぶ

日本語・英語・中学校特別授業

柳瀬尚紀著

イギリスやアメリカの文学を日本に紹介する翻訳家として、大きな実績を残してきた柳瀬尚紀さん。「不思議の国のアリス」や「チョコレート工場の秘密」など、今なお読み継がれる名作を数多く手掛けてきた、ことばのエキスパートだ。

この本は、柳瀬さんが全国各地の中学校に招かれて行った講演の記録だ。中学生たちに、ことばを知ることの楽しさや奥深さを伝える内容で、とても親しみやすく、面白い。地名や学校名など、身近な題材を



知る楽しさ 身近な題材で

きっかけに、ある時は漢字一文字にこだわり、ある時はわざと古い英和辞典を持ち込んで、話は展開する。日本語の移り変わりや、外国語と日本語の関係、ことば遊びなど、縦横無尽に話が広がっていく様子は、まるで実際にその場で講演を聞いているかのようだ。

普段何げなく使っていることばについて、じっくり振り返ってみる機会はありませんか。けれども、それではもったいない。この本は、ことばとの新しい触れ合い方をきくと教えてくれるだろう。柳瀬さんが、英語を勉強する時に愛用してきた英和辞典についても詳しく紹介している。

(河出書房新社、1650円)

本読の道案内



貴金属店にある金の地金＝東京都中央区

## 科学にフォーカス

### 「現代の錬金術」 別々の金属で新合金

本来は混ぜられない金属を一 つにして新たな合金を生み出す「現代の錬金術」の研究が進んでいます。

えられています。ただ太陽より重い星の合体によるエネルギーは想像を絶します。地球上で核融合を起こして本物の金を作るのは無理でしょう。

錬金術って？  
A 中世の欧州などで盛んに試みられた古い時代の「科学」です。高価な金などの貴金属を、安価で手に入れやすい鉄や銅などを材料に作り出すことを目指しました。そんなつまらない話はなく、大勢が挑

残念だね。  
A 別のやり方もあります。京都大の北川宏教授らは、レアメタル(希少金属)のロジウムと似た性質の新合金を、ルテニウムとパラジウムから作るのに成功しました。この2種類の金属は通常は混ざりませんが、非常に細かい微粒子にすることで一緒にいることを発見したのです。



京都大の北川宏教授らが作った、レアメタル(希少金属)のロジウムと似た性質の新合金の粉末＝京都市

なら金を作ろう。  
A 地球で見つかる金やプラチナなどの重い金属は、もともとは宇宙で「中性子星」などの密度の高い天体が合体した際の核融合で生まれたと考えられます。  
A ロジウムは車の排ガスの有害物質を浄化する触媒に使われ、金の数倍も高価です。北川さんの手法なら本来の10分の1の価格に抑えられ、触媒としての能力も高まりました。環境問題への対応から自動車メーカーも関心を示しています。まさに現代の錬金術です。